

科目	航空工学概論 (Outline of Aeronautical Engineering)		
担当教員	長 保浩		
対象学年等	機械システム工学専攻・1年・後期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A-4-3(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	航空工学全般に関する講義を行い、航空機の形状の根拠や性能などを理論的に理解させる。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A-4-3】自己の専門分野（特別研究など）から航空機を捉え、関連あるいは興味のある事項をさらに深く調査及び考察し、専門的に説明できる。		自己の専門分野（特別研究など）から航空機を捉え、関連あるいは興味のある事項についてレポートを作成させてそれを評価するとともに、小論文形式のテストを実施して理解の確認及び評価を行う。
2	【A-4-3】航空機の部分的な形状の根拠や飛行性能の概要について平易に説明できる。		航空機の部分的な形状の根拠や飛行性能の概要に関する適切な課題を与え、レポートにより評価する。
3	【A-4-3】航空工学の概要・区分について概ね理解している。		ノート提出により評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験30%、レポート70%として評価する。レポートには、ノート提出を含む。到達目標の1に挙げる航空機技術の専門的な捉え方を重視する観点から、レポート点を70%とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	ノート及びプリント講義		
参考書	「航空宇宙工学入門」：室津義定著（森北出版）		
関連科目	機械工学科本科及び機械システム工学専攻で講義されている力学全般。		
履修上の注意事項	機械工学科本科で講義されている力学全般に関する基本的な知識を必要とする。		

